

手指リハビリ 安く手軽に

九大発メグウェルが専用機器

九州大学発ベンチャー1つのモーターで済ませ、低価格に抑えた。卓上の指に沿って5本取り付けた。本体のモーター1台ではねを動かす、手を握ったり開いたりする動きができるようにした。

メグウェル 2018年9月設立。九大院工学研究院の荒田純平准教授が最高技術責任者（CTO）を務め、研究成果を生かしたりハビリ機器を開発する。ベンチャーキャピタルのQBキャピタル（福岡市）や製造代行の三松などが出資している。

九州大学発ベンチャー1つのモーターで済ませ、低価格に抑えた。卓上の指に沿って5本取り付けた。本体のモーター1台ではねを動かす、手を握ったり開いたりする動きができるようにした。

開発した「SMOVE（スムーズ）」はタッチパネルで操作する本体とグローブのような装着部で構成し、5本の指の計13の関節を動かせる。今後試験などを重ね、2019年の発売を目指す。関節の動きをサポートするには関節ごとにモーターが必要となるが、メグウェルは柔軟なニッケルチタン合金製の板状の

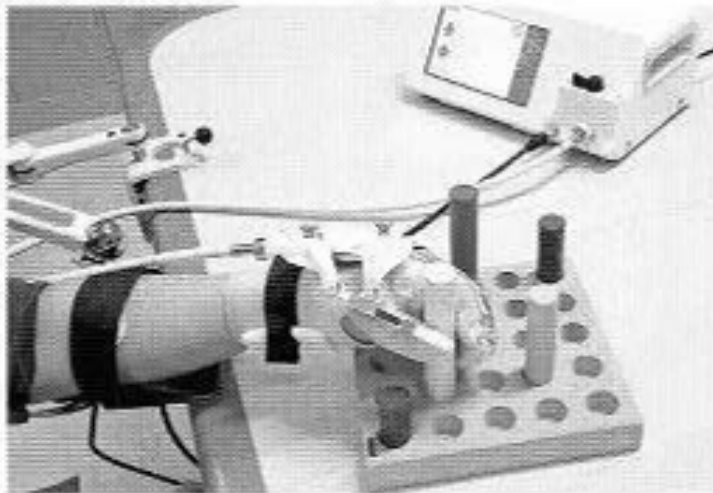
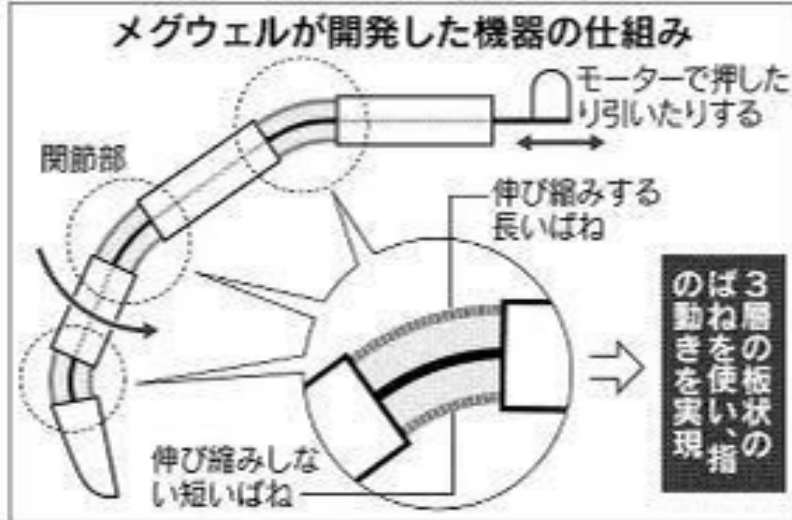
ばねを組み合わせた棒状の部品を開発。グローブの指に沿って5本取り付けた。本体のモーター1台ではねを動かす、手を握ったり開いたりする動きができるようにした。

既存の海外製品はコンプレッサーなどを使うため、大型で重く固定式が多い。価格が1000万円以上する製品もある。田名部徹朗社長は「国内にスムーズのような製品はほぼない」と話す。

スムーズはグローブ内にモーターがなく、約200gと軽量。卓上などで気軽に使える。価格は数百万円を想定する。前腕にセンサーを3カ所取り付け、手指を動かす筋肉の電気「筋電」を感知し、自動で動く機能も付けた。

モーター1つ

卓上利用OK



特殊な構造の棒状部品を採用したメグウェルのリハビリ機器

厚生労働省の2014年調査では脳卒中を含む脳血管疾患の患者は117万9000人。手指にまひが出やすく、リハビリ機器の活用が期待される。メグウェルは機能を限定した製品を19年、筋電センサー付きの製品を21年に発売する。株主の製造代行の三松（筑紫野市）が受託生産し、大手医療機器メーカーと組んで販売する方針だ。

（高城裕太）